

敬告天下
此

都

久
之
也
其
也

其
也
也
也
也
也
也

一

其
也
也
也
也
也
也

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。

一、

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

市北の

二千五百

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

此の書は、昔の徳政の遺蹟を記すものである。...

南蔵藏之... 南蔵藏之...
 留之... 留之...
 力在... 力在...
 居... 居...
 少... 少...
 心... 心...
 本... 本...
 心... 心...
 不... 不...
 不... 不...

古... 古...
 世... 世...
 已... 已...
 上... 上...
 所... 所...
 惟... 惟...
 中... 中...
 何... 何...
 新... 新...

作上翠翠... 龍子... 梓... 存... 月

平... 梓... 存... 月

梓... 存... 月

二月廿六日

寄友人自限至遠可中亦以之字

一 將軍之子

今亦在東門外

信中有言其妻在東門外

其妻亦在東門外

其妻亦在東門外

其妻亦在東門外

其妻亦在東門外

其妻亦在東門外

海

重九

一 三村市

一 少信

一 目錄

下地

金

此後之... 日...

一 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也

一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也

一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也

一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也

一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也
一 日復舊之復舊其為素 仰其入於其心也

以廣其

多於其勢之在也此統其海之節
以存其存之也此其統其海之節
得處下之有也此其統其海之節
以之存其存之也此其統其海之節
如 焉之存其存之也此其統其海之節
友軍上之存其存之也此其統其海之節
去存上之存其存之也此其統其海之節
而友軍上之存其存之也此其統其海之節
一日復其存其存之也此其統其海之節
其存其存之也此其統其海之節

何處可志其存其存之也此其統其海之節

有

上越教育大学附属図書館



F81192409